

## 素案からの主な修正点

番号	該当頁 (各論)	修正内容	委員等から寄せられた御意見等
1	16	「介護手法の普及等」の項目において、「県民一人ひとりが、どこでどのような医療やケアを望むかを自分自身で前もって考え、家族や周囲の人、医療・介護職員等と話し合い共有する取組（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）が必要である」旨を記載しました。	この計画の中に「アドバンスケアプランニング」という言葉がないのではないかと。 認知症の方に限らずだが、計画の「自己実現」を達成するという命題において、「アドバンスケアプランニング」というのは非常に大事なことだと思うので、県全体で推進していくような方向性を計画中に示していただけるとよい。（「第9期愛知県高齢者福祉保健医療計画検討策定委員会」葛谷委員） 一人暮らし高齢者世帯の増加を見据えた施策が必要になる。ハイリスク世帯を把握したうえで、ACP等を始め、関係分野部局との連携・協働により取組を進めていくことが重要である。（「第9期愛知県高齢者福祉保健医療計画（案）に対する意見抜粋」）
2	19	「認知症の人の介護者の負担軽減の推進」の項目において、「医療・介護専門職に、当事者団体等を紹介し、普及を図る」旨を記載しました。	医療とケアの連携が必要であるという点について、是非、専門職だけの連携では終わらず、私たちのような当事者団体の実施している活動とも連携していただき、そういった形の連携の必要性についても、計画に盛り込んでいただきたい。（「第9期愛知県高齢者福祉保健医療計画検討策定委員会」尾之内委員）
3	20	初期集中支援チームのKPIについて、役割の変化や対応事案の長期化などにより、数値目標のみをもって評価することが難しいと指摘されていることを踏まえ、本計画のKPIから削除します。	初期集中支援チームのKPIについて、この取組をなぜやるのかという点を考えると現在のKPIは疑問が残る。初期集中支援チーム員の介入によって、その人がよりよくなったかということ、KPIにどう反映するかが課題となる。医療に繋がったということも1つだが、何がよいか考えてもらいたい。（加知委員）
4	23 25 26	「あいちオレンジタウン構想第2期アクションプラン」に基づく各モデル事業（企業連携、若年性認知症、災害時支援）について、2023年度の取組等を踏まえ、記載を修正しました。	—
5	32	「あいちデジタルヘルスプロジェクトの推進」のKPIについて、基本計画策定の進捗に伴い、記載を修正しました。	—

※その他数値等の軽微な修正について、実績値をもとに修正